

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市秋保ビジターセンター・秋保二口キャンプ場
2	指定管理者	(一社) 秋保地域活性化協議会
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日
4	施設の利用状況	H27《利用者数》ビジター18,734人(前年度比101%)・キャンプ場2,827人(前年度比81%) H28《利用者数》ビジター15,210人(前年度比81%)・キャンプ場2,893人(前年度比102%) H29《利用者数》ビジター11,941人(前年度比79%)・キャンプ場2,666人(前年度比92%) 《事業》秋保ビジターセンター及び二口キャンプ場の維持管理を行うとともに、秋保の自然、人材を活用した誘客のためのイベントや展示及び秋保地区の観光情報発信を行っている。
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 14,920千円(14,555千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 450千円(450千円) 《収入》 ・ 使用料収入 1,468千円(1,494千円) ・ その他収入 16千円(16千円)
6	利用者の声	《実施状況》 館内へ誰でも自由に記入できるようにアンケートノートを設置し、来館者の要望や苦情等利用者の声を把握して施設の改善に努めている。多くのお客様から「おもてなしの心」に徹しているとの評価をいただいている。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	秋保の自然等を活用した誘客イベントを行うなど、施設の設置目的を職員が理解しており、適切な管理運営が行われていると認められる。	A
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況、開館状況、指定管理料の執行等、適切な運営管理体制であると認められる。	A
III	施設・設備の維持管理	利用者が安全に利用できる状態が維持されており目に見える損傷もなく、備品も適切に管理されていると認められる。	S
IV	サービスの質の向上	当該施設の案内やパンフレットの配布にとどまらず、二口エリアや秋保のアウトドア情報を中心に秋保全体の情報を発信するなど、利用者が利用しやすい環境づくりを心がけて、サービスの質の向上に努めていると認められる。	A
V	施設固有の基準	仕様書に定める業務のほか、近隣住民(自治会や山岳ボランティア等)との連携も密であり、地元に着した観光交流施設として適切に運営されていると認められる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（（一社）秋保地域活性化協議会）による自己評価》
<p>秋保ビジターセンターでは、二口溪谷やばんじ岩などへの観光案内と名取川上流の豊かな自然と触れ合う体験学習のイベント、また大東岳への登山受付、二口キャンプ場の受付等を行っています。体験学習では、山の動物、小鳥観察や川の生きもの観察の学習の中に、石窯を利用し山菜などの自然食を取り入れた食イベントも多く開催したことにより参加者にも人気で好評を得ています。</p> <p>特に29年度は、二口林道が全面通行止めとなった影響で、特にビジターセンター来館者数は大幅減数(前年比79%)の落ち込みとなりました。また、二口キャンプ場は、天候の影響で一部キャンセルもあり若干の減少の利用者数となりました。引き続き自然を生かしたイベントを企画しながら、二口地区の活性化を目指します。</p> <p>また地元野尻町内会と連携し、キャンプ場清掃や設備点検、補修などに協力いただくなど、地域と密着しながら更に当施設の役割を果たしてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>当該施設は、県立自然公園内に位置しており、市民や観光客が豊かな自然とふれあえる場の案内機能を果たしている。</p> <p>指定管理者である(一社)秋保地域活性化協議会は、大人だけではなく、親子で参加できる様々なイベントを企画・実施しているが、これらのイベントは付近の水辺や遊歩道等を活用した秋保の自然を満喫できるものが多く、地域の特色を反映しつつ訪問者にとって魅力のあるものとなっている。</p> <p>また、キャンプ場等の施設運営面において、軽微な修繕や清掃等については地元町内会の協力を得て行っており、地域との連携も図られている。</p> <p>これらのことから、秋保(二口)地域の観光交流施設としての機能を十分に果たしていると評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局 観光交流部 観光課